現在、就職を考えている業界を教えてください。

※特にない場合は「特になし」とご記入ください。 IT業界（主にSler会社）

興味のある職種を選択下さい。 SE（システムエンジニア）

将来働くにあたり、希望する勤務地を教えて下さい。

※複数選択可 東京

学部の研究テーマ（研究室・ゼミ）についてご記入下さい。

※未定或いは無所属の場合は「未定」ないし「なし」とご記入下さい。 サプライチェーンマネジメント研究室

これから「電磁接触器の組立生産」の生産性向上について研究したいと考えている。電磁接触器は電磁石の動作による電路の開閉を調整するようだ機械である。構造が複雑なので、何十個の小さい部品から構成されている。私が電磁接触器の組立に必要なすべての工程を列挙し、全体的に一番効率の良い優先順位をつけなおすことで、一番生産性の良い方法を研究したい。

修士の方は修士の研究テーマ（研究室・ゼミ）についてご記入下さい。

※未定の場合は「未定」とご記入下さい。

指導教官名をご記入下さい。

※研究室やゼミに所属されていない方は「所属なし」とご記入下さい。 髙桑宗右ヱ門教授

保有されている資格についてご記入ください。

※TOEIC　○○点、基本情報技術者、ハーブ検定○級　等

※お持ちの資格がなければ、記入は不要です。 日本語能力試験N１レベル（２０１９年６月）

TOEIC　６２５点（２０１９年１２月）

普通自動車免許（２０１８年９月）

趣味/特技　等【100字以内】 バスケットボールとカラオケ

サークル・アルバイト等での経験についてご記入下さい。【200文字以内】 サークル：中央大学留学生会の副会長として、普段活動のコンテンツを作ったり、メンバーたちの面倒を見たりしている。

アルバイト：大学一年の時から、百貨店の免税カウンターで働いている。

学生時代に最も力を入れた事をご記入下さい。【400文字以内】 百貨店の免税スタッフとして外国人観光客の集客に効果的な対策を提案することである。当時、バイト先では観光客の来店客数が減少している課題に直面した。問題の原因を探すため、私が免税手続きを完了した後にお客様の意見をヒアリングし、またネットで百貨店インバウンド政策の論文をリサーチした。調査結果より私は競合他社と比べ外国人には知名度が低いこと、また外国人観光客に対するサービスは他社よりまだ不完備ということが原因だと感じた。そこで来店客数を増やすべく、私が主に二つの方向から考えた。一つ目は一人あたりの来店回数を増やすこと。それに対しては、期間限定ガラガラ抽選会の開催を提案した。二つ目は知名度を上げて新規顧客を開拓すること。ここでは、影響力のあるソーシャルメディアに広告配信することを提案した。サービス改善に関しては中国語講座などの開設を提案した。結果、外国人の来店客数は去年同月より一日平均100客増えた

その他経験・自己PR等についてご記入下さい。【400文字以内】 サークルの副会長として、メンバー達の生産性を高め、屋台の売り上げナンバーワン獲得したことである。当時、私たちが焼きそばの屋台を出そうとしていた。材料購入を担当しているメンバーと一緒にスーパーに行ったが、売り点としての特製ソースが何処のスーパーでも手に入らなくて、インターネットで購入しても間に合わない恐れがあった。そして、「諦めよう」とか、「どうしよう」と言っているメンバーもいて、みんなのモチベーションがぐっと下がった。そこで私が自分の強みである課題を解決する主体性とみんなを支援するようなリーダシップを発揮して、特製ソースの製造会社に電話で交渉し、直接に製造会社のオフィスまで行ってソースを購入した。この問題を解決したことで、メンバー達との信頼関係をしっかり構築でき、例年より高い生産性を出せた。結果として、二日間10万円の売上でナンバーワンを獲得した。

NSSOLに対する志望動機をご記入下さい。【400文字以内】 私が人々の生活を便利かつ豊かにするという夢を実現したいため、貴社のSE職を志望している。私はベテラン社員でしかできなかった手計算作業を新人含め誰でも10秒で解決できるツールを作って業務効率化したことがある。そして社員に感謝の手紙をいただいたことをきっかけにして、人々の生活をより便利かつ豊かにする夢を持つようになった。この夢を実現する手段としては、やはりAIやビックデータといった最先端のIT技術の活用が一番効果的だと考えた。貴社は新日鉄住金のシステムを長年支えてきた実績があり、そこから培った高い技術力を用いて、常に様々な業界の顧客企業に応じた最適なソリューションを作り込んでいる点に共感した。また貴社の研究開発センターでは近い将来のビジネスに貢献できる先進技術を研究開発しており、そのような技術を活用することによってきっと私の夢を実現できると思い貴社を志望するに至った。

IT技術を使って実現したい事をご記入下さい。【400文字以内】 ビックデータといった最先端のＩＴ技術を活用して人々の働き方を変えたい。

現在、日本は人口減少・高齢化による働き手不足、長時間労働の常態化などの課題が山積している。既にＡＩや業務自動化ロボットを用いて業務を効率化し、生産性を向上させているが、ここではビッグデータの利用も有効ではないでしょうか考えている。

ほとんどの人は自分の経験や勘を頼りに、いつどのタイミングでどんなコンテンツを盛り込むか決定しているが、蓄積されたデータから最適なものを算出できれば、労力を減らし効果を上げることが期待できると思う。

これにはデータの収集や解析にかかる費用や時間の面での問題があるが、ビッグデータの収集や解析、活用が容易になるシステムを提供できれば、働き方が大きく変化できると思いため、それを利用して新たな働き方を創造しサポートしていきたい。

これまでの人生で最も困難だった事をご記入下さい。

また、それをどのように乗り越え、その後どのように活かせたかも併せてご記入下さい。【400文字以内】 私は百貨店の免税スタッフとして、従来一回つき10分以上かかる手計算問題を10秒以内に解決できるツールを作ることで、バイト先の自動免税機お釣り枚数補充業務を効率化させた経験がある。バイト先の百貨店では自動免税機が導入されたが、閉店前に補充すべき各額面価額の貨幣の枚数を計算する時間がなかなか取れず、いつも勤務時間外に実施する傾向が6ヶ月ほど続いた。課題解決にあたって、根本的な原因になる計算方法を変える必要があると上司に提案した。またこの問題が大学で習った最適化問題に似っていると感じ、何かしらのツールを作ることで社員さんに助けたいと思った。多くの試行錯誤を重ねた上で、貨幣の額面価額ごとの枚数を入力するだけで、補充すべき枚数が出てくるExcelFileを作り上げ皆に共有し、より効率的に仕事を推進した。このことから学んだ既存の仕組みに囚われず、積極的に新しいことを勉強する精神が集客の提案にも活かせた